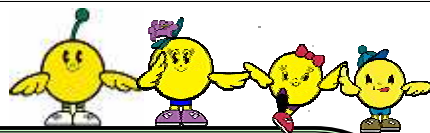


ほつとふる ふくしま



平成23年度

当初予算

100年後も...

## 表紙

平成23年度当初予算の知事査定を終了しましたので、  
その概要を発表いたします。

ほつとすゐ

ふくしま



平成23年度当初予算



予 算 規 模

9,000億

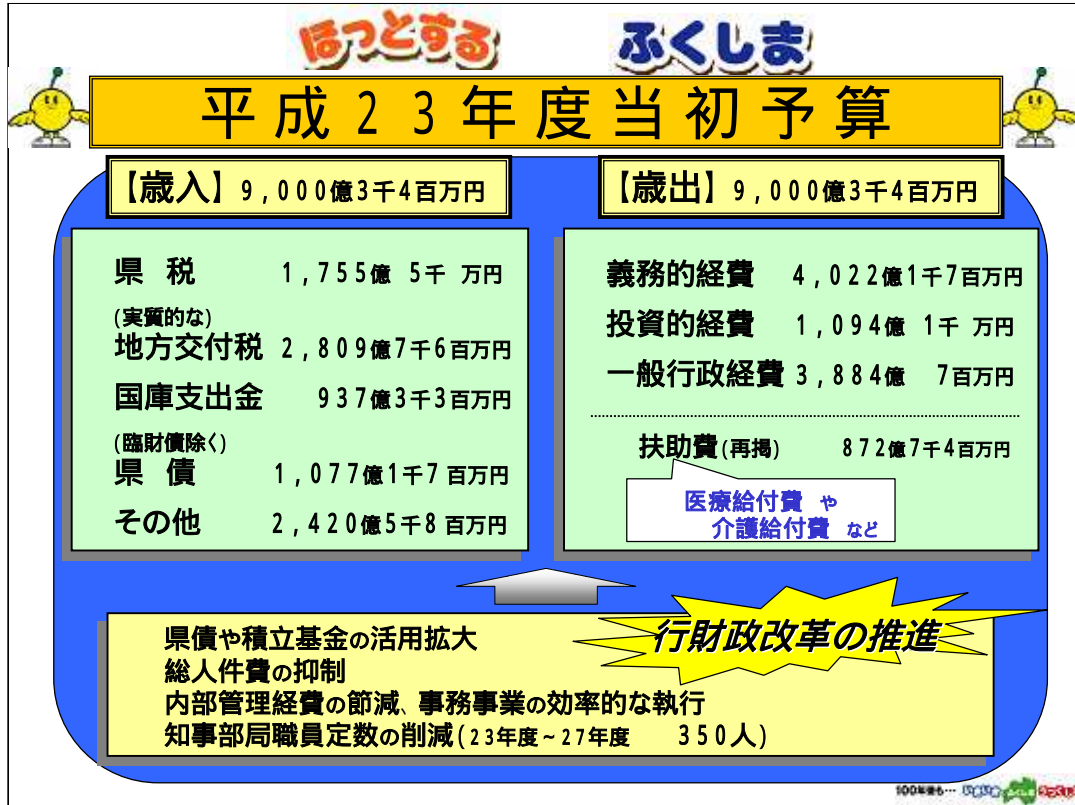
3千4百万円

2年連続9,000億円台を確保

100年後も... 

## 予算規模

一般会計当初予算の総額は、  
9,000億3,400万円であり、  
前年度と比較し22億円、  
率にして0.2%の減となったところでありますが、  
2年連続9,000億円台を確保したところであります。



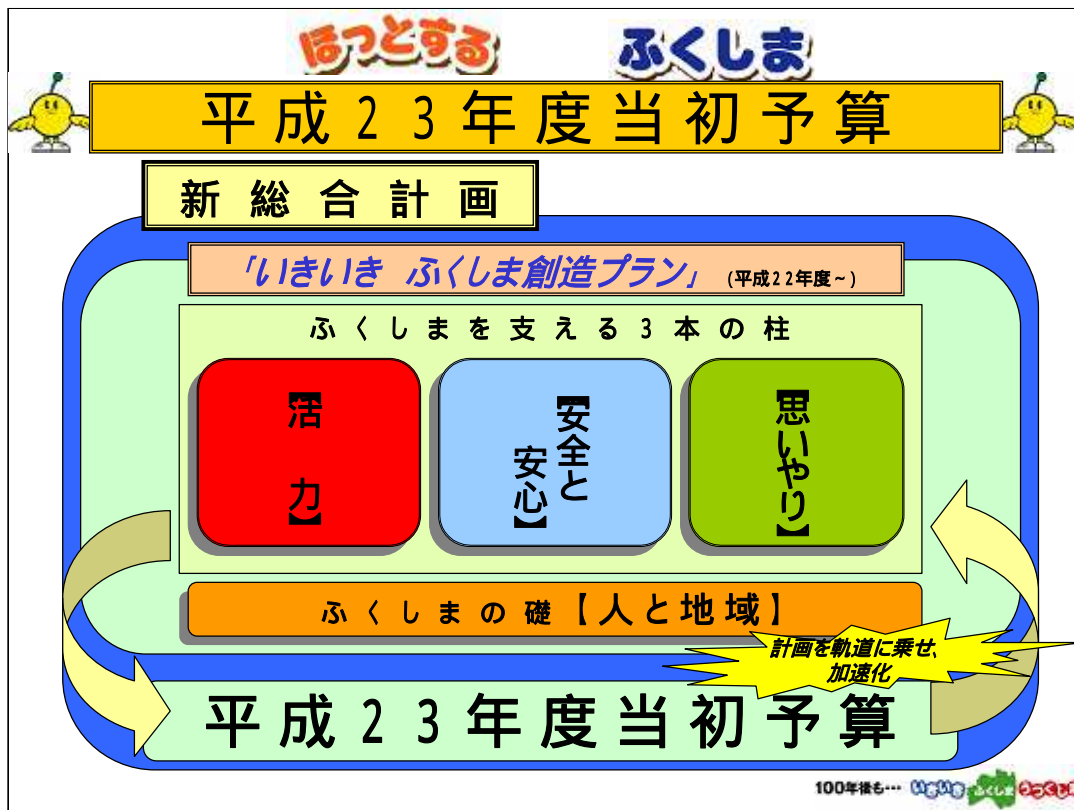
まず、歳入についてであります。地方財政対策により地方交付税の総額が確保されましたが、臨時財政対策債が大幅な減になったことにより、これを含めた実質的な地方交付税全体では、107億円の減額となっております。

また、県税収入につきましては、当面、円高等の影響による厳しい経済状況が続くものとみられ、平成22年度当初予算計上額とほぼ同額となることから、一般財源総額の確保は厳しい状況にありました。

このため、県債や積立基金の活用拡大などにより、必要な財源の確保に努めたところであります。

一方、歳出についてであります。医療給付費や介護給付費等の社会保障関係経費が増額となることから、総人件費の抑制や内部管理経費の節減を図るとともに、事務事業の効率的な執行に努めるなど、引き続き、行財政改革を進めてまいります。

さらに、限られた財源や人的資源を最大限に活用し、より一層簡素で効率的な行財政運営を進めるため、知事部局の職員定数を平成23年度からの5年間で350人削減する条例案を2月定例会に提案することとしております。

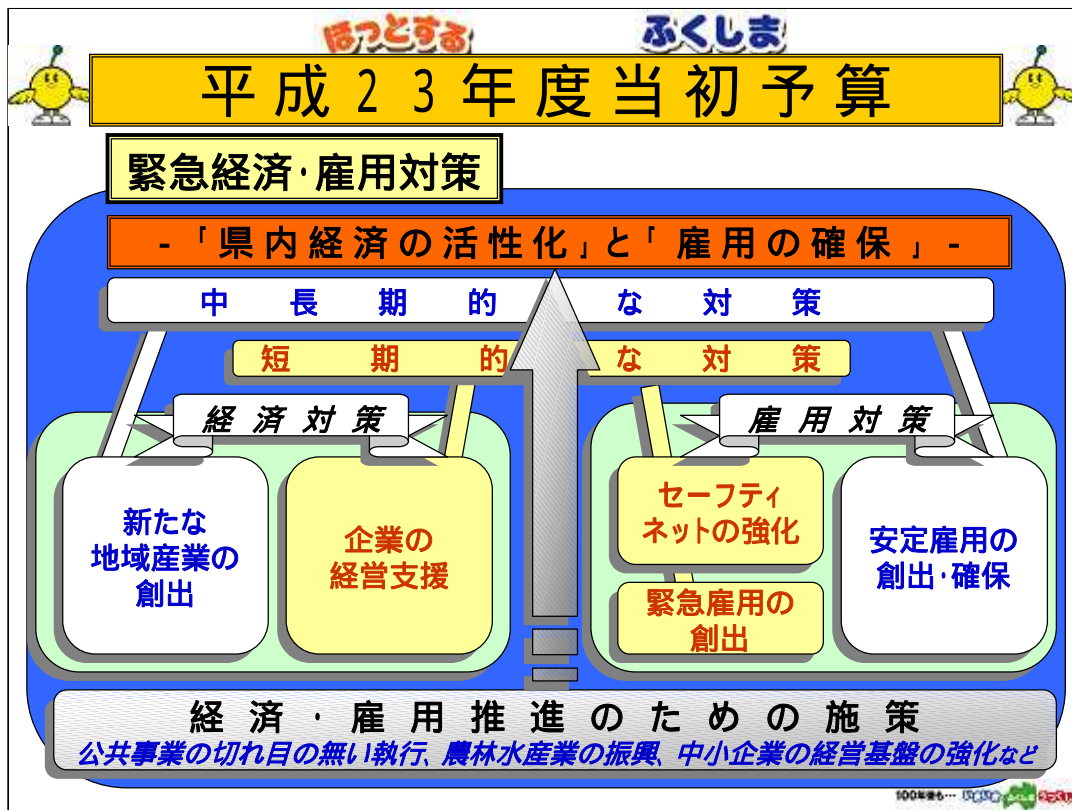


## 総合計画

今年度は、新しい総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」をスタートさせたところであります。

平成23年度予算は、2年目となる総合計画を軌道に乗せ、加速させる大事な予算となります。

予算編成に当たっては、この計画を着実に実行し、本県の未来を確かなものとするため必要な事業に予算を重点的に配分したところであります。



## 緊急経済・雇用対策

また、県内経済の活性化と雇用の確保が喫緊の課題であり、新たな地域産業の創出と安定した雇用の確保、セーフティネットの強化などの経済・雇用対策について、積極的に対応を図ったところであります。

それでは、重点的に推進する事業について、総合計画の県づくりの礎「人と地域」、ふくしまを支える3本の柱「活力」「安全と安心」「思いやり」に沿って説明いたします。



## 人と地域

### 【子育て支援】

まず、県づくりの礎である「人と地域」についてであります。  
 ふくしまの未来の主人公であり、最高の宝でもある子どもたちが、  
 心豊かにたくましく育つ社会を目指し、  
 子育て支援の推進に全力を尽くしてまいりたいと考えております。  
 「地域の寺子屋」を更に充実させるとともに、  
 「育ちの架け橋」推進交流会などを通して、幼稚園と保育園などの枠組みを超えて  
 地域全体がネットワークを組んで子育てに取り組んでいく仕組みづくりや、  
 県内子育て支援団体のネットワーク活動を支援してまいります。  
 さらに、民間団体や市町村からの企画提案に基づく  
 地域の子育て力の向上につながる事業を支援するとともに、  
 発達障がい児に対する取組みを拡大します。  
 また、子育ての大切さや楽しさを父親にも知ってもらうための  
 「イクメン推進事業」などに取り組んでいくこととしております。  
 なお、子育て支援関連事業を総合的かつ一体的に展開するため、  
 「子育て支援担当理事」を新設します。

### 【学力向上】

次に、子どもたちの夢が実現できるよう、生きる力をはぐくむ教育を  
 推進してまいります。  
 特に、子どもたちが、自ら学び、自ら考える力を身につけ、「確かな学力」の向上が  
 図られるよう、指導体制を強化するなど様々な取り組みを進めてまいります。  
 また、全県的な規模で児童生徒の学習状況や課題を把握し、  
 それに基づき授業の改善や子どもたちの学習習慣の確立などに取組み、  
 学力の向上につなげてまいりたいと考えております。

ほつとすま 2011 ふくしま

## 平成23年度当初予算

### ふくしまの礎【人と地域】

#### 文化

各種文化関連事業の実施

**「ふくしま総文」**  
平成23年8月  
全国高等学校総合文化祭

全国トップレベルの  
アスリート育成など  
競技力向上

奥会津の文化資源を  
活用したアートによる  
地域の魅力発信

「H24大型観光キャンペーン」へ

街道「水」をテーマにした事業の展開

## 奥州街道

#### 【文化】

さて、23年8月には、本県において第35回全国高等学校総合文化祭が開催されます。文化部のインターハイとも言われる文化の総合祭典であり、全国から約2万人の高校生を始め、多くの方々が来県する予定となっておりますが、おもてなしの心でお迎えをし、併せて本県の魅力発信に努めてまいりたいと考えております。

ふくしま総文の開催を契機として、青少年を中心とする県民の皆さんが様々な文化団体と交流を図り、新しい文化の風を起こすことによって、本県の芸術文化の振興につなげていくことといたします。

また、昨今、文化と並び、駅伝などのスポーツにおいても、本県の若者が大活躍を見せております。

全国トップレベルのアスリートを目指す高校生への支援を強化するなど、競技力の向上にも積極的に取り組んでまいります。

今年度は、「漆」というすばらしい地域文化に光をあてた「会津・漆の芸術祭」が好評を博しましたが、23年度はこれを拡充し、「街道」と「水」をテーマとした事業を展開することとしております。

また、奥会津の文化資源を活用し、芸術家が地域に滞在しての作品創作やワークショップなどを行うことにより、アートによる地域の魅力を発信するなど、文化による地域づくりをさらに進めてまいります。



## 活力

### 【産業の振興】

ふくしまを支える3本の柱の第一の柱、「活力」についてであります。

まず、医工連携についてであります。

県内経済は依然として厳しい状況が続いておりますが、経済の安定のためには、景気の影響を受けにくく、高い競争力を有する産業の育成が急務であることから、医工連携など、産学官が一体となって、医療・福祉機器関連産業の集積・育成、研究成果の事業化に一層取り組むことが必要であります。

このため、新たに、国内市場に加え、海外市場を狙う製品について、その商品化や事業化に対する支援を行うとともに、ドイツなど、海外における販路開拓を積極的に推進してまいることいたしました。

企業誘致につきましては、私自身が先頭に立って、これまで以上に積極的に取り組む考えであり、企業立地促進補助金の地域活性化枠を拡充して、過疎地域等への誘致に力を入れてまいりたいと考えております。

また、深刻化する地球温暖化や環境への負荷の少ない循環型社会への転換と持続可能な社会を実現するため、再生可能エネルギー先進県を目指した取り組みを進めてまいりる考えであります。

さらに、次世代エネルギーの利活用を推進するため、産学官が連携して取り組むバイオマス発電技術、未来の電気自動車である小型電気モビリティ、エネルギーの最適化機能を持ったスマートハウス等の研究開発に対する支援を行ってまいります。

### 【安定的な雇用創出】

雇用対策については、安定的な雇用・就業機会を創出するため、地域産業振興、介護及び若年者就職支援を中心に、医療機器産業や介護分野における人材の育成につながる事業を展開することとしております。

また、新たに、県内企業と、Fターン希望の若者とのマッチングを行うなど、県内への就職に向けた事業を実施することとしております。



ほつとする
ふくしま

## 平成23年度当初予算

### 3本の柱【活力】

#### 農業の振興

農業振興の施策

米価の下落や消費量の減少など  
厳しい農業環境

生産から消費にいたる  
きめ細かい施策の展開

基盤を強化!

売れる米づくりの推進  
県開発新品種「天のつぶ」  
のブランド化育成支援  
作付転換に対する支援  
「喜多平茂」産子600頭  
生産対策事業の実施

担い手の確保

(受入体制整備・技術修得支援など)

#### 地域産業の六次化

地域産業の六次化

プログラムの策定(平成22年度)  
「ふくしま地域産業六次化・  
食品産業振興プログラム」

プログラムに基づき、取組みを加速

六次化に取り組む人材育成  
新たな商品づくりの支援  
「ふくしまならではの」逸品  
の重点的なPR など

六次化を全県的な流れへ!

#### 【農業の振興】

本県の主要産業の一つである農業の振興についてであります。

近年、米価の下落や消費量の減少など、農業、特に「米」を取り巻く環境が厳しさを増してきております。

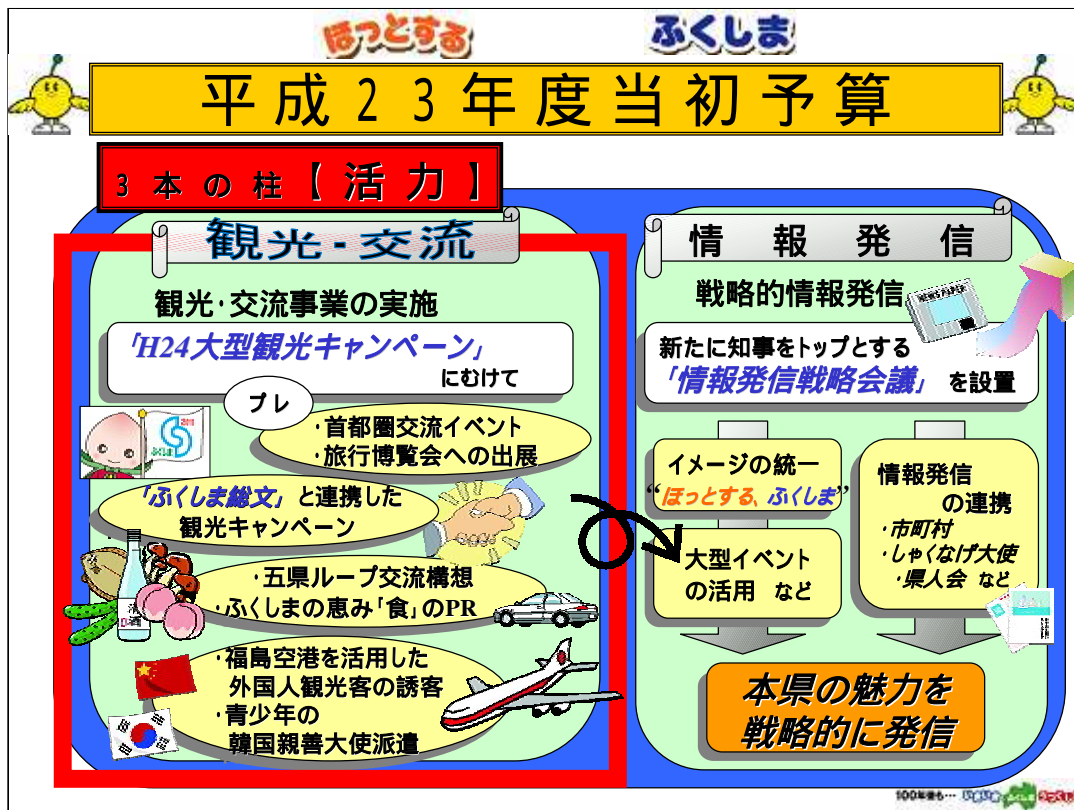
そこで、水田農業の基盤を強固なものとするために、高品質かつ低コストな生産による売れる米づくりをしっかりと推進していくほか、本県オリジナルの新品種である「天のつぶ」の生産拡大に努め、生産から流通、販売、消費にいたるまであらゆる面から水田農業の振興を強力に推進していくとともに、主食用米から他作物への作付転換に対する支援を行うなど、きめ細かい施策を展開してまいります。

また、農業の振興には何よりも担い手の確保が重要であることから、地域による新規就農の受入体制の整備を支援することなど、担い手の育成にしっかりと取り組んでまいります。

#### 【地域産業の六次化】

地域産業の六次化については、今年度中に今後の重点的な取組分野をまとめた「ふくしま地域産業六次化・食品産業振興プログラム」を策定することとしております。

23年度は、このプログラムに基づき、六次化に取り組む人材を育成し、新たな商品づくりを支援するとともに、「地域ならではの」、「ふくしまならではの」逸品を重点的にPRするなど、六次化の流れを全県的な大きな流れとしていこうと考えております。



#### 【観光・交流】

次に、観光・交流についてです。

平成24年度の大型観光キャンペーンにつきましては、「まなび」「食」「いやし」の3つをテーマに着地型観光を推進することとしておりますが、23年度は、おもてなし県民運動の展開や首都圏の交流イベントにおけるキャンペーン活動、旅行博覧会への出展などのプレ事業を実施することとしております。

まず、10万人を超える来場者が見込まれる「ふくしま総文」を誘客のための大きなチャンスと捉え、高校生を核とした交流の輪を広げてまいりたいと考えております。

また、この3月には、北関東自動車道の全線開通が予定されておりますが、これによって、北関東磐越五県が6本の高速道路によりループ状につながることから、本県のおいしい農産物など、「ふくしま」らしさを前面に打ち出し、本県への誘客と交流の拡大を図ってまいります。

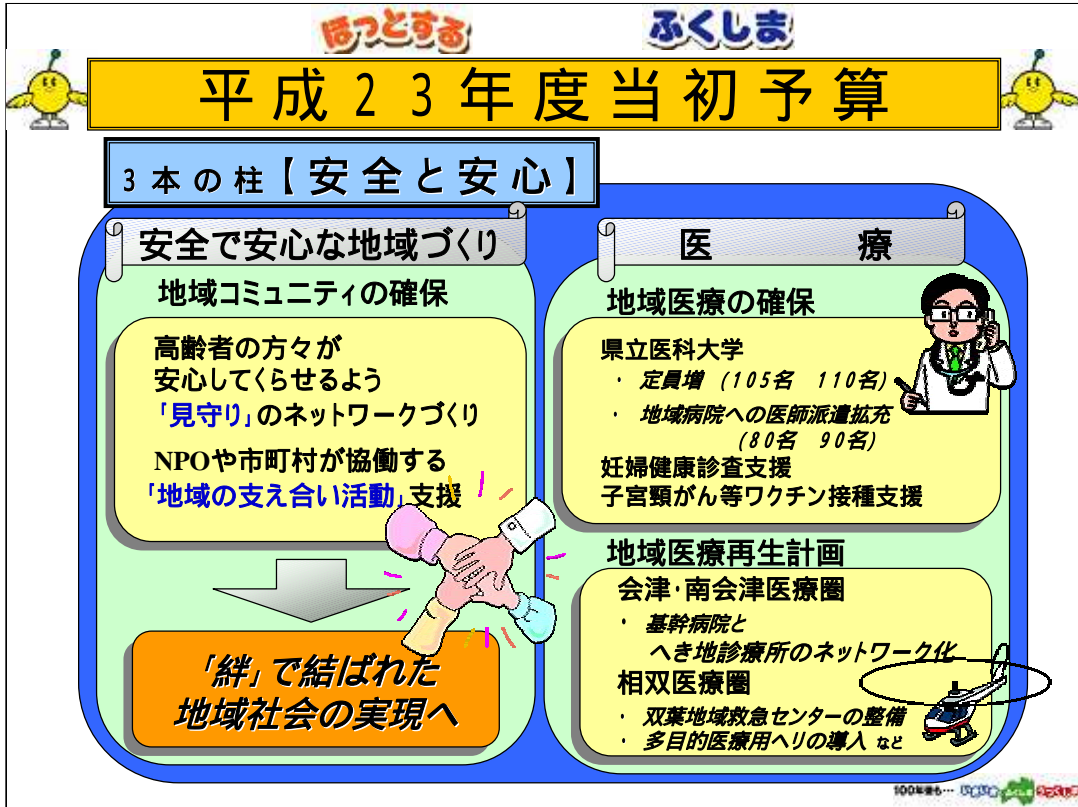
さらには、福島空港を活用しながら、国内のみならず、韓国、中国、台湾など、今後も成長が見込まれるアジアを中心に、外国人観光客を誘致する取り組みを強化していく考えであります。

特に韓国については、本県の青少年を親善大使として派遣するなど幅広い交流に向けた「未来の架け橋」につながる取り組みを行ってまいります。

#### 【情報発信】

さて、福島県の魅力を広くお伝えし、観光や交流の拡大を図るためには、情報の発信方法が非常に大切なものとなってまいります。

23年度は、私をトップとする情報発信戦略会議の下、「ほっとする、ふくしま」を統一コンセプトに、マスコミの皆様にもご協力をいただきながら、本県の魅力を戦略的に情報発信してまいります。



## 安全と安心

### 【安全で安心な地域づくり】

第二の柱、「安全と安心」についてであります。

近年、全国的に「無縁社会」という言葉が叫ばれているところであります。

しっかりとした「絆」で結ばれた地域社会こそが、安全・安心の基本であり、特に、高齢者の方々が安心して暮らせるよう、「見守り」のネットワークづくりを行い、こうした取り組みを全県的に拡げるため、NPOや市町村が協働した地域の支え合い活動に対する支援も行っております。

### 【医療】

次に、地域医療の確保につきましては、

県立医科大学医学部の定員を23年度からさらに5名増やし110名とするほか、地域の病院への医師派遣を80名から90名に拡充してまいります。

また、引き続き、妊婦健康診査の支援を行うほか、子宮頸がん等ワクチン接種についても新たな支援策を講じてまいる考えであります。

地域医療再生計画に基づく主な事業についてであります。会津・南会津医療圏においては、基幹病院とへき地診療所のネットワーク化を図り、へき地医療の充実に努めてまいります。

また、相双医療圏においては、本年4月の双葉厚生病院と県立大野病院の統合に合わせ、双葉地域救急センターの整備や多目的医療用ヘリの導入など、浜通りの地域医療の充実強化を図ることとしております。

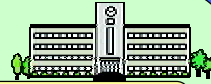
平成23年度当初予算

3本の柱【安全と安心】

社会基盤の整備

県立高等学校の耐震化

耐震化困難な校舎(福島高校、安積黎明高校など6校)  
改築による整備 など



子どもたちの安心な通学路の確保

歩道や信号機の整備、交差点の改良、交通事故多発  
地点における道路交通環境の改善 など



道路整備の推進

冬期間の交通支障の解消や  
緊急・救急輸送路の確保を図る整備の推進 など

集中豪雨対策のための河川改修



【社会基盤の整備】

次に、安全・安心な社会基盤の整備についてであります。

県立高校の耐震化についてであります。

これまで耐震化が困難であった  
福島高校、安積黎明高校など6つの高等学校について、  
改築による整備を行うことといたしました。

また、子どもたちが、安心して通学できるよう、  
歩道や信号機の整備、交差点の改良、  
さらには、交通事故多発地点における道路交通環境の改善に  
取り組んでまいります。


道路整備については、  
冬期間の交通支障を解消するとともに、  
緊急・救急輸送路の確保を図るための整備を行い、  
通行者の安全を確保してまいります。

また、局所的な集中豪雨対策のための河川改修など、  
自然災害から県民の命と財産を守るための事業を行ってまいります。

ほつとす ふくしま

## 平成23年度当初予算

**3本の柱【思いやり】**

| 環 境   | 低 炭 素   |
|---|---|
| <p style="text-align: center;"><b>自然環境学習の推進</b></p> <p style="text-align: center;">本県が誇る「尾瀬」を用いて<br/><b>環境教育</b>を実施</p>  | <p style="text-align: center;"><b>「福島議定書」の理念の実践</b></p> <p style="text-align: center;">パソコン上での<br/>「ふくしまエコマラソン」 など</p> <p style="text-align: center;"><b>低炭素社会の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスや県産木材の利活用の促進</li> <li>・カーボンオフセットの取組み など</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>森林環境税の活用</b></p> <p style="text-align: center;">市町村が、環境学習事業などを継続的、効果的に進めていただけるよう拡充・強化</p> <p style="text-align: center;"><b>地球温暖化対策推進に関する条例制定に向けた検討</b></p> |

100年... 100年... 100年...

## 思いやり

### 【環境】

第三の柱、「思いやり」についてであります。  
 自然環境学習の推進についてであります。  
 子どもたちに自然の大切さを学ばせることによって、  
 豊かな自然環境を次世代に継承していくことができるものと考え、  
 「尾瀬」という本県の誇るべき自然を直接体験することにより、  
 生物多様性に対する意識の醸成を図る取り組みを行うことといたしました。

### 【低炭素】

低炭素社会構築に向け、温室効果ガスの排出量の低減を図るため、  
 家庭における排出削減のため  
 効果がパソコン上で確認できる「ふくしまエコマラソン」を実施し、  
 環境家計簿の取組みを強化するなど、  
 「福島議定書」事業の更なる普及拡大に努めてまいります。  
 また、木質バイオマスや県産木材の利活用を促進するため、  
 需要拡大に向けた活動を支援するとともに、  
 カーボンオフセットの取組みを推進してまいります。  
 さらには、「森林環境の保全」と  
 「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」を目的として、  
 第二期目の課税期間となる森林環境税の活用については、  
 市町村が、子どもたちへの環境学習などを継続的に、  
 そして、より効果的に進めていただけるよう、  
 市町村交付金事業を拡充・強化したところであります。  
 加えて、地球温暖化対策推進に関する条例の制定に向けた検討  
 を始めることといたしました。

**ほつとすま ふくしま**

**平成23年度当初予算**

**3本の柱【思いやり】**

**猪苗代湖**

紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト

**県民の力の結集**


- ・ボランティアによるヨシ刈り実施
- ・除じんスクリーンの設置
- ・猪苗代湖における環境教育 など


+

**原因究明と改善策の実践**

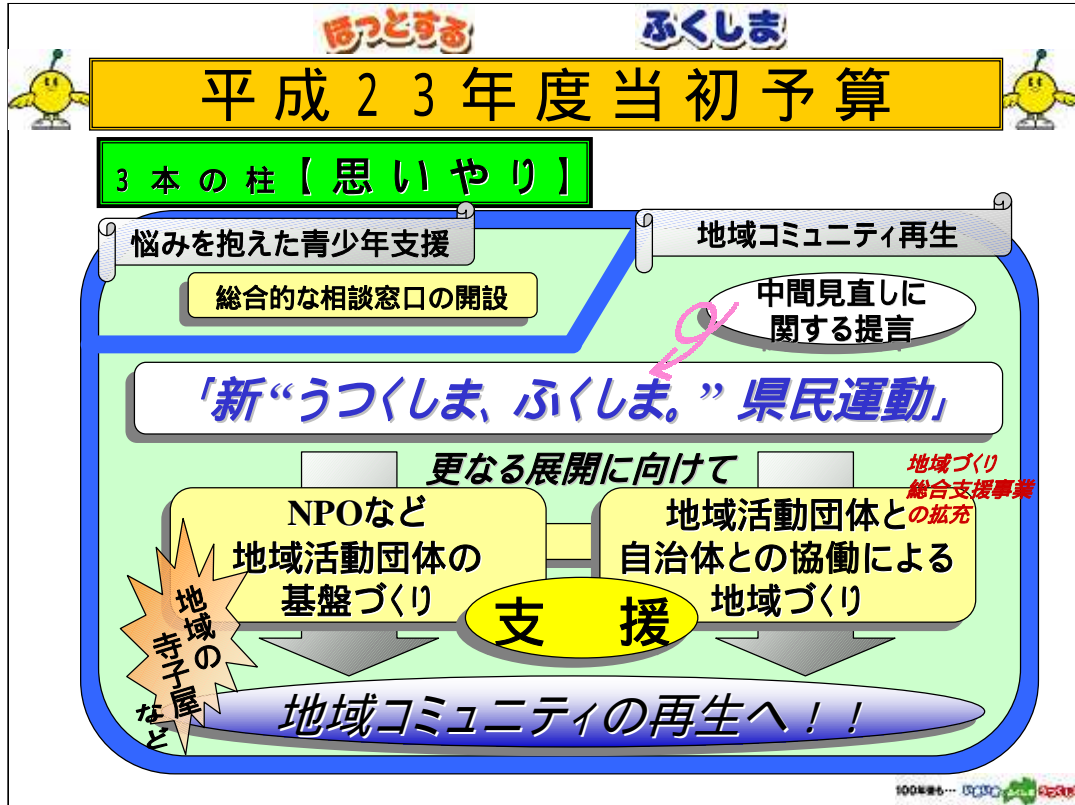
- ・大腸菌群数超過対策調査
- ・窒素・りん除去型浄化槽整備促進
- ・ヒシ、ヨシ刈りの委託 など

清らかで美しい**猪苗代湖**の復活と  
未来の世代への**継承**



100年後も... 

**【猪苗代湖】**  
 次に、猪苗代湖についてであります。  
 現在、猪苗代湖の水質改善は緊急の課題となっておりますが、地域のボランティアの皆さんや専門家の協力を得ながら水環境の保全活動に取り組んでおります。  
 23年度は、県民の皆さんや市町村と県の力を結集し、清らかで美しい猪苗代湖を復活させる、そして、未来の世代に継承していくことを目指し、湖にかかる負荷を出来る限り低減させるためのプロジェクトに全力をあげて取り組んでまいりたいと考えております。



### 【青少年支援】

次に、ニートやひきこもりなど、悩みを抱える青少年、一人ひとりの状況に応じた的確な支援が行えるよう、総合的な相談窓口を開設することいたしました。

### 【地域コミュニティ再生】

また、先日(1月20日)、中間見直しに関する提言を受けた「新“うつくしま、ふくしま。”県民運動」については、更なる展開に向けて、NPOなど、地域活動団体の基盤づくりを支援し、地域コミュニティの再生を図ってまいります。

さらに、地域づくり総合支援事業を拡充して、地域活動団体と自治体との協働による地域づくりを支援するための「地域協働モデル支援事業」を創設いたします。

**ほっとする 福島**

**平成23年度当初予算**

**新総合計画**

「いきいき 福島創造プラン」 (平成22年度～)

ふくしまを支える3本の柱

|                |                   |             |
|----------------|-------------------|-------------|
| <b>活<br/>力</b> | <b>安全と<br/>安心</b> | <b>思いやり</b> |
|----------------|-------------------|-------------|

ふくしまの礎【人と地域】

“ほっとする、福島”の実現に向けて  
平成23年度当初予算額 **9,000億3千4百万円**

100年後も... 

## まとめ

以上が、23年度当初予算の概要であります。  
 県民の皆様、市町村、民間企業、NPOなど  
 あらゆる主体と連携を密にしながら、  
 これらの施策を効果的、効率的に進めていくことによって、  
 活力のある元気な福島県づくりに  
 全力で取り組んでまいります。